



協働プログラム成果報告

株式会社BKT
坪根 裕樹



1 会社概要

2 プログラムでの取り組み

3 プログラムを通じて感じたこと

4 今後について



1 会社概要





◇会社概要◇

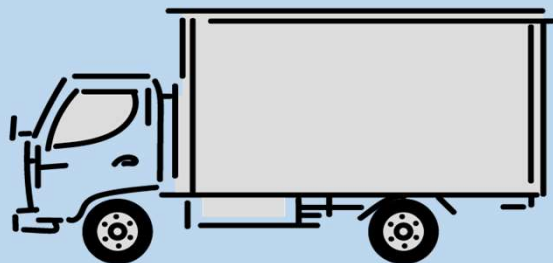
会社名	株式会社BKT
代表者	代表取締役 浅谷 宏一
本社所在地	〒924-0834 石川県白山市矢頃島町1001-2
TEL	076-256-2850
FAX	076-256-2852（見積用FAX 076-256-2854）
富山工場	〒934-0095 富山県高岡市石丸708-38
設立	平成2年8月
資本金	3,000万円
従業員	107名※ パート・アルバイト含める
取引銀行	北國銀行松任支店・北國銀行川北支店・北陸銀行松任支店・商工中金・日本政策金融公庫金沢支店
事業内容	各種金属（SS 鋼板・ステンレス鋼板・アルミ鋼板等）加工・販売
品質マネジメント	ISO 9001:2015 認証取得



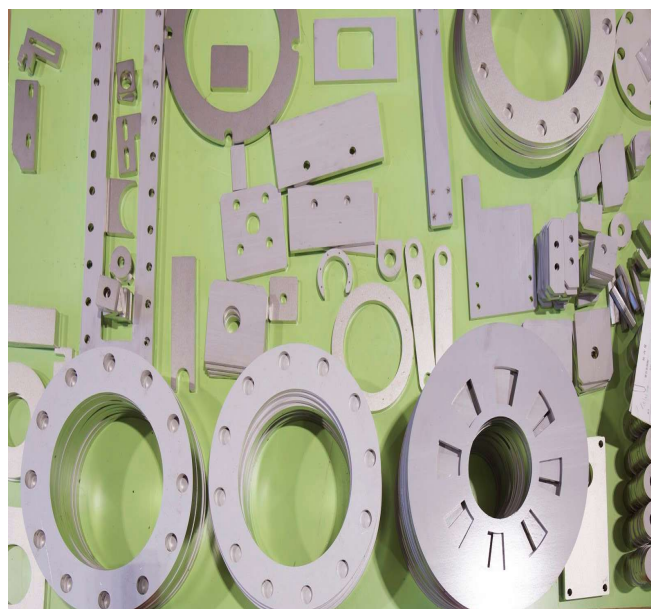
～BKTの特徴～

短納期

当日出荷、翌日着



多品種少量生産





2 プログラムでの取り組み

B K T 独自の全社ロードマップの立案

～相談内容～

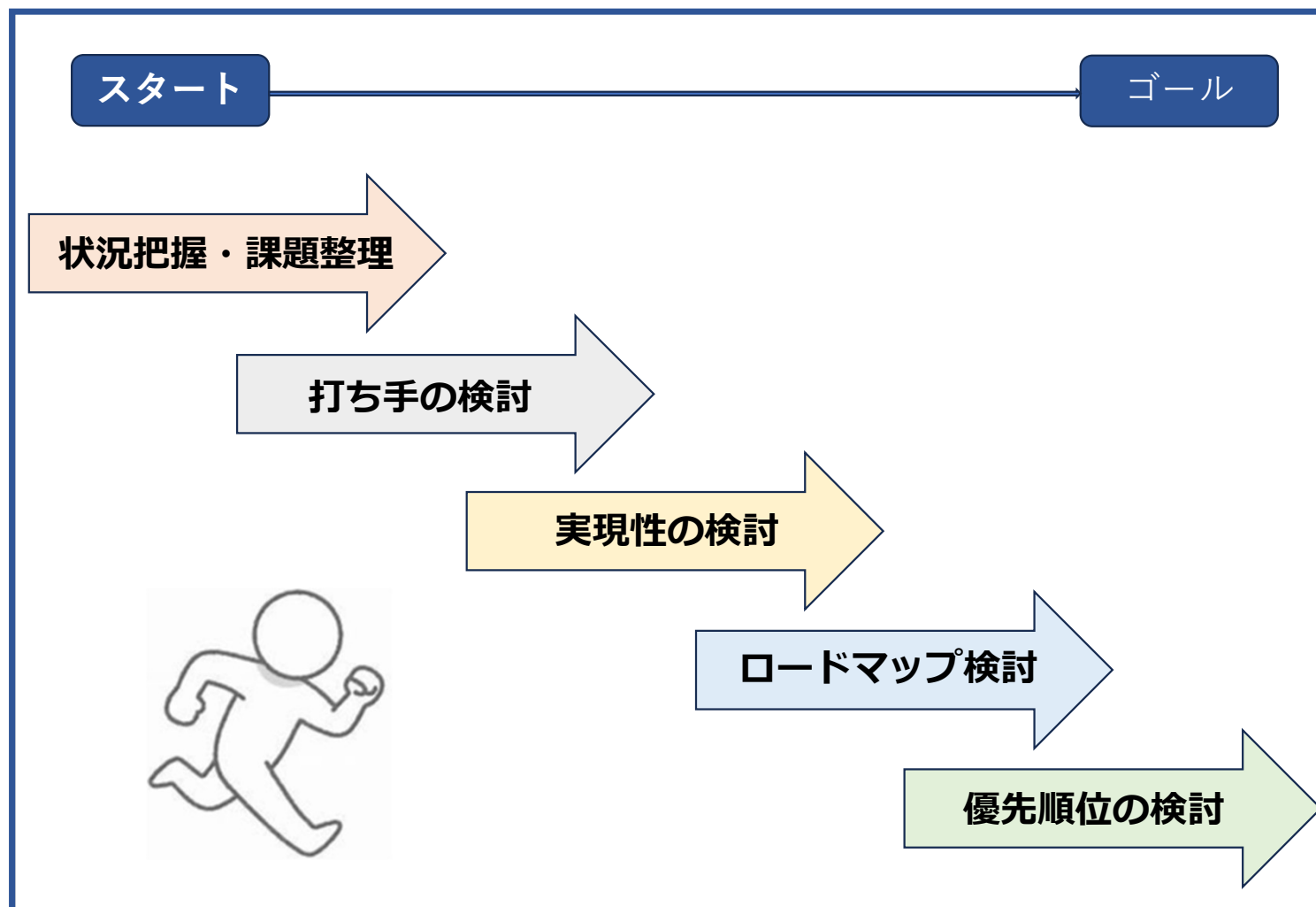
営業・事務部門において少しずつDX化に取り組んでいるが、会社全体としては曖昧なまま進んでおり、模索状況。
本取り組みをキッカケとして、会社全体でのDX像を明確にしたい。
具体的には、問題点が顕在化していることは現在進行形で対応中だが、潜在課題がもっとあると思うので、明確にしたい。
また、各部署の活動状況の見える化、製造現場の各種指標の見える化、製造現場におけるシステム処理の効率化、従業員のITリテラシーの醸成が必要。
これを踏まえ、BKTとしてDX化としてどのように取り組むべきかの指針を明確にしたい。

～3つのロードマップ～

ポータルサイト
を使った社内情
報の可視化

ネストの
ペーパーレス化

LINEを使った
受注システム



～受講生チームについて～

【DXお悩み相談室】様



学生・研究職・SE・Sler が揃う多様なメンバー



3 プログラムを通じて感じたこと

DX施策は必須

DXお悩み相談室様と打ち合わせを繰り返すうちに会社がすでにDXの波に乗り遅れているとあらためて実感。

DX施策していない企業は将来的に淘汰されていくのではと思うほどだった。

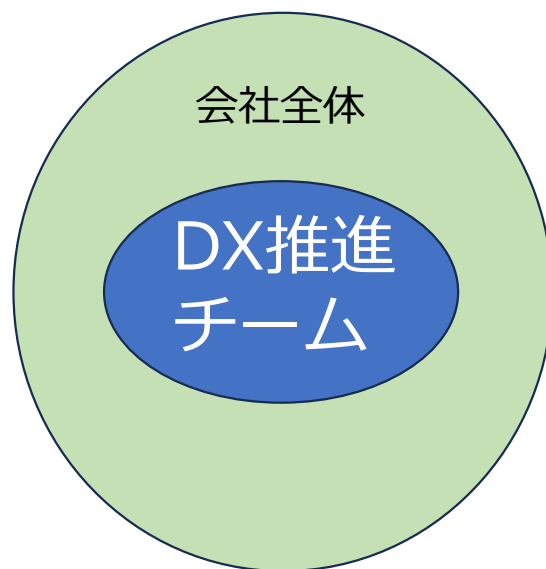




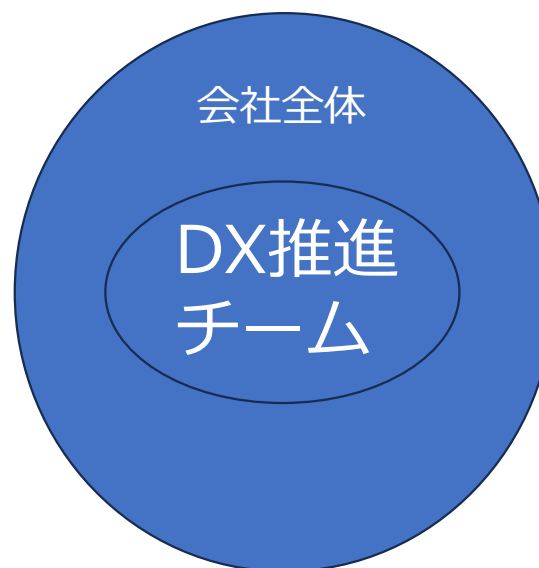
4 今後について

将来的に会社全体でDXを理解し取り組むことで
ビジネスモデルの変革を狙う

チーム発足



5年後





ご清聴ありがとうございました